

[編集発行]

千葉県赤十字血液センター
〒274-0053 船橋市豊富町690
Tel 047-457-0711

冬場の血液不足解消に向け、 企業チームが強力サポート!

患者さんの命を守るため、献血と骨髄バンク登録にご協力下さい。

一人ひとり微妙に異なる血液は、たとえ同じ血液型を輸血しても副作用(発熱・発疹など)が発生する恐れがあり、患者さんの安全のためには、出来るだけ少ない人数からの血液で賄うことが望ましいとされています。また、日本では骨髄移植を必要とする患者さんは毎年少なくとも2,000人程度おり、一人でも多くのドナー登録が必要とされています。

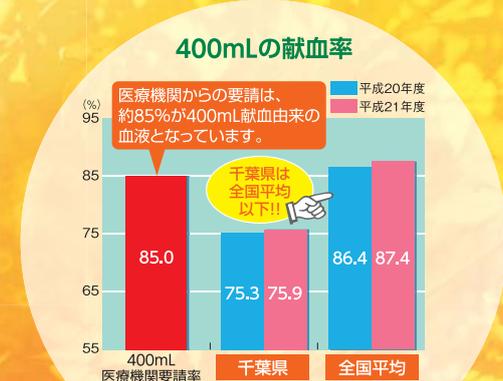
血液センターでは、更に400mL献血と骨髄バンク登録を推進するため、今年度もNECとのパートナーシップのもと献血・骨髄バンク推進用のポスターを制作しました。

今回で3回目となるNECグリーンロケッツ(ラグビー)と、新たにNECレッドロケッツ(女子バレー)のサポートをいただき、それぞれのスポーツのイメージを献血や骨髄バンク推進活動に重ねた2種類のポスターで、さらなるご協力をお願いしてまいります。



日本赤十字社 千葉県赤十字血液センター
http://www.chiba.bc.jrc.or.jp

▲NECグリーンロケッツ出演のポスター

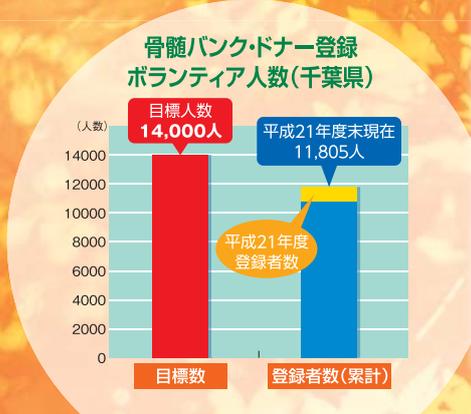


輸血を受ける患者さんの副作用を低くするために更なるご協力をお願いします。



日本赤十字社 千葉県赤十字血液センター
http://www.chiba.bc.jrc.or.jp

▲NECレッドロケッツ出演のポスター



CONTENTS No.63

2 お便りとメッセージのコーナー / 漢字クロスワードパズル

3 ◆愛の血液助け合い運動にご協力ありがとうございました。



◆レポートNo.63
○中学生約150人が職場体験!

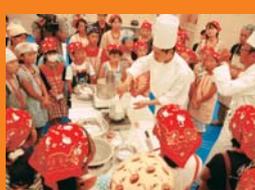
4 ◆第46回献血運動推進全国大会が行われました。

◆「町探検」で地元小学生が血液センターを探検!

5 ◆千葉県学生献血推進協議会主催サマー献血キャンペーンを実施しました!

◆献血協力企業・団体紹介

6 ◆小学生・中学生献血学習会キッズ献血セミナー2010親子で献血クッキングが開催されました!!



◆県内献血会場のご案内(献血ルーム及び献血スケジュール)

○献血にご協力いただける事業所・団体・グループを募集しています。

患者さんにとってより安全な、400mL献血にご協力ください。



献血キャラクター けんけつちゃん

お便りとメッセージのコーナー

「一人でも多くの方に」

父が入院中大変お世話になったこともあり、献血ルームにせっせと通って人の役に立ちたいと思っています。今では献血ルームの人とも顔見知りとなり楽しくすごしております。全国にこのドナー通信を見て、一人でも献血をしていただけた方が増えるといいと思います。

三郷市 M.Oさん

「献血の必要性や素晴らしさを感じて」

母と姉が献血をしているのを見て、自分も大学生になって始めました。ドナー通信を読むと、改めて献血の必要性や素晴らしさを感じ、また来ようと思うことができます。

千葉市 K.Kさん

「30回目の献血」

私はA型+です。A型の血液の人は沢山いるので余り協力出来ないのかなと思いましたが、でもA型の血液は、それだけ病気が、怪我で必要としている人も多いと思い、今日三十回となりました。多田美波先生のガラス食器を記念品に頂いて来ました。有難う御座居ました。

浦安市 M.Oさん

「誰かの役にたてれば」

先日、成分献血をさせていただきます。とても優しく接していただき、うれしかったです。私の成分がどこかでどなたかのお役に立てるといいなあと思っています。

船橋市 K.Mさん

DONOR 2010.9 No.63



「献血の大切さ」

このところ献血ルームにいくと多くの方がいます。献血の大切さが広まっていることによるものだと思うので、これからもっと多くの方が訪れるようになってほしいです。

千葉市 M.Iさん

「自分の為、子供の為、社会の為に」

結婚、出産、子育てに追われ先日10年ぶりに献血をし「ドナー通信」を拝見しました。助け合いの精神で献血活動に取り組む姿勢に胸を打たれました。今までは何となくでしたが今後は自分の為、子供の為、社会の為に少しでも自分が役立っていると思いき関心を持って献血活動に協力したいと思っています。

千葉市 M.Mさん

「皆さんの声を聞いて」

職場でたまに献血し、初めてドナー通信を読みました。お便りとメッセージコーナーで、寄せられる言葉を読むと献血をして良かった、と思いました。仕事に就くと、なかなか献血のタイミングがなかったり、次の日の体調を考えて足をとってしまったり...ですが、皆さんの声を聞いて自分のことばかり考えず、機会が巡ったとき、もしくは自らで協力していきたいと思いました。ありがとうございます。

野田市 S.Mさん

「140回目の献血」

「70才誕生日前日まで献血可能です」との事、そのまゝ7月4日に140回目を最終回としてドクターストップ。終了とさせていただきます。「もっと続けたい」の気持ちは大いにあるもの、ま、健康でこられたからと感謝しております。

私にとっては毎月定期健康診断を継続しているような感覚でした。顔馴染みとなった事務員さん、看護師の方々、問診の先生方、皆様もどうか健康でありますように、お世話になりました。ありがとうございました。

千葉市 J.Mさん

お便りとメッセージをありがとうございます。

- このコーナーでは、献血にまつわる想い出、感想、ご意見や実際に輸血を受けられた方々、そのご家族、輸血医療に携わる医療関係者の方々からのお便りをお待ちしております。
- お便りは、次号以降のドナー通信紙面や当センターのホームページなどで、市町村名とイニシャルを使い紹介させていただきます。
- 「お便りコーナー」でご紹介させていただいた方には、記念品を進呈いたします。
- あて先▶〒274-0053 船橋市豊富町690 千葉県赤十字血液センター内 ドナー通信係

漢字クロスワードパズル

このクロスワードパズルは、どこか3カ所だけ漢字が入ります。その場所は文字数やタテ・ヨコの関係から推理して下さい。その他のマスはすべてカタカナです。最後にその漢字三文字を並べて、その答えのこぼを作して下さい。

答え

□ □ □

1		2		3		4
			5	6	レ	
7	8		9			10
		11	12	ジ		
13	ヨ			14		15
		16		ス		
17				18		

□ヨコのカギ

- ①「目には——山ほととぎす初聲」(山口素堂)。
- ③江戸時代後期の俳人で、代表作は「おらが春」の小林——。
- ⑤パンジーと呼ばれる三色——。
- ⑦鶴は千年、——は万年。
- ⑨熱中症の予防には、——補給をお忘れなく。
- ⑪乳幼児を育てることで、こんな休暇も認められています。
- ⑬代表作は「たけくらべ」で、五千円札に描かれている樋口——。
- ⑭数字に用いる平方根で、記号は「√」です。
- ⑯ギリシャ神話の最高神。
- ⑰アダムとイヴが住んでいたという樂園です。
- ⑱電話——。郵便——。暗証——。出席——。

□タテのカギ

- ①歌舞伎十八番の「勸進帳」の舞台となる——の関。
- ②男性の最低音域。
- ③前例がなく、まれなこと。
- ④薄焼き卵で五目餡を包み、干瓢(かんぴょう)で結んだ——餡。
- ⑥三味線の別名です。
- ⑧ほまれあることで、こんな教授もこんな市民もいます。
- ⑩電磁石を利用して音を出す装置で防犯グッズとしても使われています。
- ⑫——絶後の大事件。
- ⑬鶴の——で、ようやく案がまとまります。
- ⑭電話にお任せしている人もいます。
- ⑮——に暮れるとは、どうしてよいかわからなくて困ること。

お詫びとお知らせ

前号(ドナー通信62号)の漢字クロスワードパズルのヒントの標記に誤りがあり、「タテのカギ」と「ヨコのカギ」が逆になっていました。クロスワードパズルを毎号楽しみにしていただいている皆様には、ご迷惑をお掛けしましたことを深くお詫び申し上げます。前号のクロスワードパズルの答えにつきましては、ご応募いただいた方は全員正解とさせていただきます。(予定していた答えは「節約家」でした。)

「答え」と「住所・氏名」、「ドナー通信への感想」などをハガキにご記入の上、係あてに郵送して下さい。抽選で20名様に素敵な記念品をプレゼントいたします。当選者の発表は、記念品の発送をもってかえさせていただきます。

- 締切▶平成22年11月30日(火) 当日消印有効
- 応募先▶〒274-0053 船橋市豊富町690 千葉県赤十字血液センター内 漢字クロスワードパズル係

ヒント こだわりの味です。

愛の血液助け合い運動にご協力ありがとうございました。



知事からの熱いメッセージ

「愛の血液助け合い運動」は厚生労働省・都道府県・日本赤十字社の主催で7月1日から31日までの一か月間、全国一斉に行われました。この運動は、広く国民の皆様へのご理解とご協力をいただくとともに、夏季における血液不足を解消する目的で毎年行われている運動です。

千葉県では、この運動に合わせ7月3日(土)にそごう千葉店前広場にてオープニングイベントを行いました。

千葉県健康福祉部薬務課長(本多 信行)が同運動の開始を宣言し、千葉県知事からの熱いメッセージが紹介されたあと、千葉県警察音楽隊の演奏中、ポートクィーンのお二人と千葉県学生献血推進協議会の皆さんが、会場の方々に献血の呼び掛けとキャンペーン団扇の配付を行いました。

千葉県赤十字血液センター所長(浅井 隆善)は、近年若年層の献血離れが進んでいる中で、「若い人達に是非献血にご協力をお願いしたい」と訴え、患者さんにとってより安全な「400mL献血へのご協力」をお願いしました。

尚、同期間中千葉県内では、18,775人の方から献血のご協力をいただくことができました。ありがとうございました。



たいへん素晴らしい演奏でした。



Report No.63

中学生約150人が職場体験!

平成22年7月27日(火)~29日(木)の3日間にわたり、船橋市立坪井中学校の2年生約150人が職場体験学習を行いました。

この学習は、文部科学省が推進しているキャリア教育の一環として、日本赤十字社千葉県支部と連携して行いました。血液センター体験プログラムでは、7月の「愛の血液助け合い運動月間」(厚生労働省・千葉県・日本赤十字社主催)に合わせて献血の呼び掛けを実践し、献血の仕組みについて学習しました。

各日ともそれぞれ約50人の生徒が参加し、午前中は学校内で献血に関する話を聞き、午後2時からは3班に分れて、JR船橋駅北口、南口前での献血呼び掛けと献血ルームの見学を行いました。駅前では、全員が交替でリーダーとなり、通りすがりの人達へ献血の協力をお願いしました。体験した中学生は「頑張って」と声を掛けられたり、呼び掛けに応じてご協力いただいた事に感激した様子で、「自分も16才になったらぜひ協力したい」と、献血活動への関心を深めていました。

また、千葉県支部体験プログラムでは、日本赤十字社千葉県支部内の義肢製作所見学やコイン仕分けなどが行われ、赤十字の活動について学習しました。



なれない声掛けにドキドキ!



献血についての学習の様子

呼び掛けは順番に一人ずつ全員がお願いしました。



第46回献血運動推進全国大会が行われました。

「第46回献血運動推進全国大会」が平成22年7月15日、日本赤十字社名誉副総裁である皇太子殿下ご臨席のもと、島根県民会館(松江市)で開催されました。献血や血液事業に貢献した功労者の表彰のほか、体験発表などが行われ、血液事業のいっそうの発展を誓い合いました。大会は7月の「愛の血液助け合い運動月間」にあわせて毎年開催しているもので、厚生労働省・島根県・日本赤十字社が主催し、全国から1,500人が出席しました。

献血推進協力団体等厚生労働大臣表彰状及び感謝状伝達式が行われました。

千葉県では、「第46回献血運動推進全国大会」をうけて平成22年7月30日(金)ホテルプラザ菜の花にて同伝達式が行われました。同全国大会において厚生労働大臣表彰及び感謝状が贈られた千葉県内18の献血推進協力団体に、千葉県健康福祉部長(戸谷 久子)より表彰状及び感謝状が伝達されました。



千葉県健康福祉部長の挨拶

表彰団体一覧

●厚生労働大臣表彰 3団体(全国90団体)

- 学校法人千葉学園 千葉商科大学
- 陸上自衛隊 木更津駐屯地
- 船橋京葉ライオンズクラブ



伝達の様子

●厚生労働大臣感謝状 15団体(全国321団体)

- 独立行政法人 労働者健康福祉機構
- 千葉労災看護専門学校
- 東海大学付属浦安高等学校
- 小湊鉄道株式会社バス部 塩田営業所
- 三井住友建設株式会社技術研究所
- NTT労働組合 東関東総支部 京葉分会
- AGCテクノグラス株式会社
- 茂原ショッピングプラザアスモ
- 株式会社ジョイフル本田 ホームセンター事業部 君津店
- 上総一宮ライオンズクラブ
- ライオンズクラブ国際協会333-C地区 第8R第1Z 木更津ライオンズクラブ
- ライオンズクラブ国際協会333-C地区 第6R第1Z 成田グリーンライオンズクラブ
- ライオンズクラブ国際協会333-C地区 第5R第2Z 千葉エコライオンズクラブ
- 習志野中央ライオンズクラブ
- 市原ライオンズクラブ



「町探検」で地元小学生が血液センターを探検!

平成22年7月13日(火)に船橋市立豊富小学校の2年生の皆さんが血液センターへ探検に来てくれました。この探検は生活科の学習の一環として学校の近くを探検し、調べた内容を発表しあって、自分たちの住む町の自然や社会の様子を知る目的で行われました。

探検に来た生徒さんは8名で、献血バスの中はどうなっているのか調べたり、献血運搬車のサイレン音の大きさにびっくりしながら「サイレンはいつ鳴らしているの?」とか「どうして血液を集めているの?」など質問して熱心にメモを取っていました。

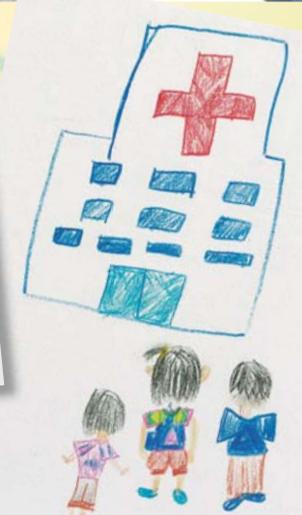
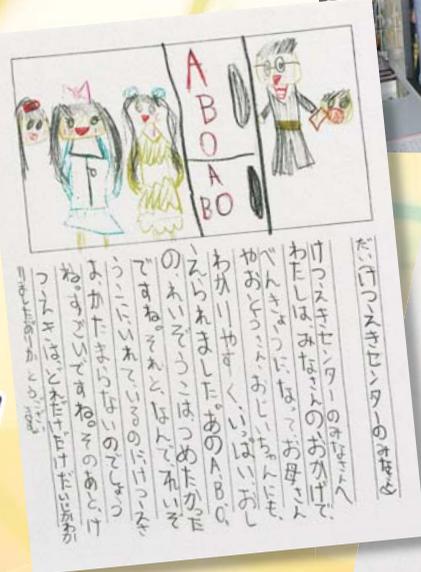
献血保管庫では、冷蔵庫や冷凍庫に入っている血液に触れながら、「この血液でたくさんの人の命が助かるんです」との説明に「大きくなったら自分も誰かを助けたい」と心強い感想をいただきました。

後日、素敵なお礼状を届けていただきました。

豊富小学校のみなさん、ぜひまた探検に来てくださいね!



素敵なお礼状
ありがとうございます



千葉県学生献血推進協議会主催

サマー献血キャンペーンを実施しました!



学生
ボランティアの
皆さん



平成22年8月1日(日)、ららぽーとTOKYO-BAY(船橋市)を会場として千葉県学生献血推進協議会(谷川 純一会長 日本大学生産工学部3年)が主催するサマー献血キャンペーンを実施しました。当日は猛暑の中、44人の学生ボランティアが血液不足の解消に向け同店を訪れる人々に、「一人でも多くの方のご協力を」と熱心に呼び掛けを行い、ご協力いただいた方々にはアイスクリームがサービスされ、ひとときの涼をとっていただきました。

献血は午後4時過ぎまで行われ、110人の方にお申込をいただき、延べ160人分の血液が確保できました。ご協力いただきました皆様、本当にありがとうございました。

千葉県では、10代・20代の方々の献血が年々減少しており、10年前との比較で延べ約37,000人も少なくなっています。血液センターでは今後も同協議会と連携して、若い世代の方々にご協力いただけるよう、血液確保に取り組んでまいります。

千葉県学生献血推進協議会では献血ボランティアを募集しております。
患者さんの命を守るため、ぜひご参加下さい。

学生ボランティア募集についてのお問い合わせ先

千葉県赤十字血液センター 献血部 献血推進二課 渉外係
Tel.047-457-9927 E-mail:syogai@chibabc-jrc.jp

けんけつちゃんも応援に!

テントの中も夏らしい装飾で……

献血協力企業・団体紹介

学校法人 パリ美容国際学園 **パリ総合美容専門学校 柏校**

校長 中田 裕之

学校法人パリ美容国際学園パリ総合美容専門学校柏校は平成16年4月に創立し、今年で7年目を迎えたばかりのまだまだ若い学校です。

今回、開校以来初となる献血活動に参加をさせていただきました。学生達自身も初めてが多く、前日から献血に対して皆興味津々でした。当日を迎え、献血会場を覗いてみると、そこには大勢の学生達が献血に列を作り、参加をしてくれていました。普段から元気いっぱいの学生からちょっと控え目な学生まで、「見えない困っている誰か」に対し、やさしく手を差し伸べている姿を見て、とても感動をしました。



献血協力の様子

美容の仕事とは、人と人の接客業ですから、他人を思いやる心がとても大切です。

学校だけでなく、今回のような貴重な活動を通じ、社会貢献をすることによって、人の外見を美しくするだけでなく、自分自身の“内面”も美しくなって欲しいと思います。

次回もこのような機会がありましたら是非、積極的に協力していきたいと思います。



中田 裕之 校長

小学生・中学生献血学習会 キッズ献血セミナー2010

「親子で献血クッキング」が開催されました!!

平成22年8月2日(月)今年で7回目となるキッズ献血セミナーは、若年者層へ献血啓発を図るとともに、ヘモグロビン量の不足により献血にご協力いただけない方が多いことから、「親子で献血クッキング」と題してポートプラザホテルちばを会場に、親子で「貧血を防ぐメニュー」を調理しながら、血液と栄養について学び、健康な血液のための食生活から献血への関心を高めて行くことを目的として、小学2年生から中学2年生までの児童・生徒32人と保護者26人の合計58人が参加して行われました。

会場では学習会のあと、シェフの指導により、鉄分摂取をテーマに鳥レバーをつかったペースト作りに挑戦、玉葱のスライスに苦戦しながらも親子で楽しいクッキングになりました。

試食後の意見交換の場では、「レバーが美味しく食べられてびっくりです。」「帰ったら家でも作ってみたい。」と好評でした。

午後は会場を千葉県赤十字会館(千葉市中央区)へ移して、赤十字活動の紹介や献血バス、献血運搬車、献血保管庫の見学を行い、保護者の方からも多数の質問が寄せられ充実した勉強会となりました。

今回のセミナーでの体験を通じて、献血の重要性とともに、いつでも献血にご協力いただけるような健康な食生活を目指していただけますようお願いいたします。

ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。



学習会で血液や栄養について学んだ後、実際に調理に挑戦しました。



なお、今後血液センターでは今回のセミナーを活用して、低ヘモグロビン量で献血にご協力いただけない方々へのテキスト(貧血を防ぐ食材やメニュー生活へのアドバイス)を作成し各献血会場などで配付を予定しております。

献血運搬車や献血保管庫を見学しました。



千葉県内献血会場のご案内

献血ルーム

柏献血ルーム (そごうアネックス6F) Tel 04-7167-8050 	松戸献血ルーム Pure (松戸駅西口松戸ビル1F) Tel 047-703-1006 	献血ルームフェイス (船橋駅南口フェイスビル7F) Tel 047-460-0521 	津田沼献血ルーム (津田沼ビル4F) Tel 047-493-0322 	モノレールちば駅献血ルーム (モノレール千葉駅構内) Tel 043-224-0332 	運転免許センター献血ルーム (千葉運転免許センター内) Tel 043-276-3641
---	--	---	--	--	---

献血ルーム 成分受付 ▶ 10:00~12:00/14:00~17:00
400mL(200mL)受付 ▶ 10:00~13:00/14:00~17:30
定休日 ▶ 年始年末

運転免許センター献血ルーム 成分受付(平日のみ) ▶ 9:00~12:00/14:00~15:30
400mL(200mL)受付 ▶ 9:00~13:00/14:00~16:30(日曜日は16時10分までです。)
定休日 ▶ 土曜日・祝日・年始年末

献血バス

血液センターでは、献血バスで県内各地を移動し、皆さまに献血をお願いしています。献血バスの予定は、当センターホームページをご覧ください。

●ホームページアドレス

<http://www.chiba.bc.jrc.or.jp>

※実施会場・時間などについては、変更になる場合がございますので、ご了承ください。



(モバイル版QRコード)

◆献血にご協力いただける事業所・団体・グループを募集しています。献血にご協力いただける方を30~40名以上集めていただければ、ご依頼の場所へ献血バスでお伺いします。

◆お問い合わせ先
千葉県赤十字血液センター
Tel 047-457-0711 (代表)



★ドナー通信へのご意見や、献血・血液に関する質問をお待ちしています。

お問い合わせ先

〒274-0053 船橋市豊富町690 千葉県赤十字血液センター ドナー通信係
Tel 047-457-0711 (代表)